ライブハウス『フェニックス』オープン

―アフターファイブを楽しく―

十一月十三日、大町の山城ビル二階にライブハウスがオープンしました。名称はライブスポット『フェニックス』。

ライブハウスは、大町商店街振興組合が大町商店街の活性化と空き店舗対策のひとつとして、県と市の中小小売商業環境整備（タウンアレンジ）事業の助成を受けて開設したものです。

テープカットでオープン

放課後や仕事を終えた若者たちが余暇時間を有意義に過ごせる環境づくりはどうあればいいかを検討するために、今年の七月組織された「ヤングアフター5ワーク委員会」などでも指摘されたように、市内に若者が集い、にぎわえる場所が少ないという声が多く聞かれます。

大町商店街の活性化をめざす大町商店街振興組合では、若い人たちが楽しく集える場所として、また商店街のイメージアップと消費者層の拡大を図るためにライブハウスを計画しこの度のオープンとなりました。ライブハウスは、若者達のアフターファイブのにぎわい空間として期待されます。

ライブスポット「フェニックス」は約八十六平方メートルの広さで、生の演奏を楽しめるほか百インチのスクリーンを使ってのビデオライブも可能です。

営業は、毎週金、土、日曜日。時間は午後四時から午後九時まで。使用料金は一時間二千円で営業日以外もバンド練習などに貸し出します。

ライブスポット「フェニックス」使用の申し込みは、大町商店街振興組合（☎43―1979）とムジーク（末広町）（☎42―1244）で受け付けています。

「スフィンクス」による記念のライブ演奏

白鳥広場もうじき完成

「白鳥広場」に描かれた大白鳥

長木川河川公園「いきいきコミュニケーション区」（西大橋～東大橋）域内に「白鳥広場」（約4,000㎡）の整備が進められています。

昭和五十七年度からスタートした長木川河川公園整備事業では、これまでゲートボールコートやテニスコート、お祭り広場、野外ステージ、管理棟兼休憩室など、いろいろな施設を設けてきました。

今年度事業で工事を進めている「白鳥広場」は、長木川左岸の東大橋西側。「広場」には、木製のベンチが置かれ、園路も造られるほか、芝生や灌木（かんぼく）類の植栽も予定され年内の完成を目指して工事を進めています。

広場の近くの水辺は、「スワンポート」として市民に親しまれ、毎年たくさんのハクチョウたちが飛来し、羽を休めるハクチョウの姿は、毎年私たちの目を楽しませてくれます。ハクチョウを観察する人や憩いを求める家族連れにとっては、広場の完成が待ち遠しかったことと思います。

広場の地面には、ハクチョウが北へ飛び立った夏場でもハクチョウを思い出せるようにと、大きな二羽のハクチョウの絵が描かれ、子供たちに喜ばれそうです。

長木川河川公園整備事業は、現在十・二九ヘクタールまで整備が進み、平成六年度以降には「のびのび自然区」（東大橋～下町橋上流）の整備を計画しています